

## 関内駅改良工事の状況について

### 1 事業目的

関内駅は、昭和 51 年の開業から 41 年が経過し、施設等の老朽化が目立ってきたため、施設・設備等を更新する改良工事を進めています。

現在、土木躯体の補修工事を行っています。引き続き、トイレのバリアフリー化、駅構内の壁・天井の改修、エレベーターの更新及びサイン改修を行います。駅全体の改良工事を行い、安全性及び快適性の向上を図ることで、お客様に安心してご利用いただき、将来にわたって愛される駅を目指していきます。

### 2 工事期間

31 年度に工事が完了する予定です。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
土木躯体補修工事	[進捗バー]				
建築・設備工事		[進捗バー]			

※ 工事費 約 51 億円（建築工事：約 18 億円、設備工事：約 20 億円、土木躯体補修工事：約 13 億円(既契約額)）

### 3 工事内容

#### (1) 安全性及び駅機能の向上

##### ア 土木躯体の補修

臨海部に位置するトンネルの漏水には塩分が含まれ、鉄筋が腐食しコンクリートにひび割れや浮きが生じています。そのため、現在、止水に加え、塩害による劣化に強い技術を採用した大規模な改修工事を実施しています。



浮きがあるコンクリートを取り除き、鉄筋が健全な範囲まで露出させた状態



塩害に強い材料で、鉄筋の防錆処理及びコンクリートの修復を完了

##### イ 設備機器室の改修

電気室・機械室の改修等を行い、老朽化した設備機器の更新を行います。また、店舗やサイン等駅価値を向上させるために、電源の容量等も合わせて見直します。

##### ウ 駅事務室の改修

お客様用の多機能トイレの増設スペースを生み出すとともに、女性職員施設（専用の仮眠室等）を設置するなど、働きやすい職場環境を実現するため、駅務諸室のレイアウトを見直します。



改修事例 あざみ野駅  
(女子トイレ パウダーコーナー付き)

#### (2) 快適性の向上

##### ア トイレ改修

どなたにも安心してご利用いただけるよう、ユニバーサルデザインを取り入れ、清潔感と機能を兼ね備えたトイレへとリニューアルします。また、トイレ出入口の段差の解消や音声案内付触知図等のバリアフリー設備も充実させるとともに、大便器は全て洋式とし、パウダーコーナーなども新たに設置します。

##### イ コンコース・ホームの壁・天井の改修

コンコース、ホームの壁や天井の改修を行い、開港当時の面影が残る関内の街並みとの連続性を意識した空間デザインとします。

##### ウ エレベーター・エスカレーター更新

市庁舎側のエレベーター 2 基を現在の油圧式からロープ式にリニューアルし、省エネルギー化を図りながら、乗り心地も向上させます。

なお、エスカレーターについては 28 年度にリニューアルしました。

##### エ サイン改修

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見据え、観光客や不慣れなお客様にも、ピクトサインなどを活用して、より分かりやすく利用しやすい駅を目指し、駅の出入口の表示等を国際観光都市横浜にふさわしいサインにリニューアルします。



地下 1 階 コンコース 改修イメージ



地下 2・3 階 ホーム 改修イメージ

改修前

改修後

シンボルサイン：電車マークのピクトサインを採用

改修前

改修後

精算機：大型パネルによる案内（4か国語表示）

改修前

改修後

行先案内：ユニバーサルフォントを採用し、駅のナンバリングを充実

### 4 改修範囲

